



本内容に関する問合せ先：
一般財団法人 日本環境衛生センター 管理部広報課
TEL: 044-288-5095, Email: koho@jesc.or.jp

\\ 新オフィス開設のお知らせ //

当センターの社会貢献を推進し、新規事業の開拓など Innovationの創出を図るため、10月1日にInnovation Officeを開設します。JR川崎駅・京急川崎駅からアクセスのよい立地とすることで、多様な人材の交流・連携、知の融合を加速化し、よりよい社会の実現に向けて邁進します。

所在地：神奈川県川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティアビル4階



現場で・書籍で・講習で “伝える” サステナブル社会推進部

9月25日に行われた2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)でのLBOV(ローカル・ブルー・オーシャン・ビジョン)推進活動や書籍における最新トピックの取り上げなど、日環センターサステナブル社会推進部では様々な角度から、環境に関する普及啓発・人材育成を行っています。当部の最近の活動をご紹介します。

📍 大阪・関西万博で

LBOV事業は、当センターが事務局を務めます。2025年9月に大阪・関西万博の会場において、LBOVの全国各地の取組に関する情報を、動画やステージイベント、体験型ワークショップ等を通じて発信しました。



📍 『生活と環境』で

当センターが1956年より発行する隔月誌『生活と環境』では、環境に連なる様々な視点から、近号では下記のキーワードを盛り込んだ内容で情報発信しています。

- ・2025年5月号 特集「ダニ媒介感染症」
- ・同年7月号 特集「海洋プラスチック」
- ・同年9月号 特集「PFAS」
- ・同年11月号 特集「光化学オキシダント(予定)」*11月に発刊予定。



📍 講習会で

資源循環・SDGs社会推進の為、豊富な経験とプログラムに基づき、効果的な講習・シンポジウム開催等の人材育成事業を実施しています。

JESC-INFO編集部に聞きました 仕事に関わる気になる話題！

先日JESC-INFO編集部は「自分の業務分野に関連した気になること」をテーマにワークショップを行いました。その中で取り上げられた内容を2、3ページでご紹介します。



NEWS① 太陽光パネルの資源化

太陽光パネルは、2030年代の後半以降には大量廃棄の時期を迎え、最大で年間およそ50万トンが廃棄されると推定されており、国では法制度化が議論されています。太陽光パネルの内、アルミ枠フレーム、ガラスなどは90%以上が資源化可能です。

当センターが受託・実施した災害廃棄物仮置場設置訓練において、事業者の方から、廃棄される太陽光パネルが発電し発火する恐れがあり、積み方など取扱いに注意が必要だと説明があり、太陽光パネルの資源化は災害対応の面からも重要だと考えます。

資源循環部では、こんな業務をしています！

一般廃棄物・資源循環分野の調査・検討等による政策形成支援を実施しています。昨今は、資源循環への注目度がより一層高まっており、一般廃棄物からの資源回収に着目して検討を実施しています。



NEWS② ごみ拾いイベント

自治体はもちろん、社会貢献活動として企業等も注目するゴミ拾いイベント。単にごみを拾うという活動から、まちづくりやスポーツ、ファンとの交流機会として楽しむなど、新たな付加価値も創造されています。

昨年度は、イベント「スポGOMI×環境省エコ・ファーストin TOKYO新宿」にてセンターが事務局を務め、開催しました。

* スポGOMIはごみ拾いを競技として位置づけ、予め定められたエリアで、制限時間内に、チームワークでごみを拾い、ごみの量と質でポイントを競い合うスポーツとして楽しむイベントです。

西日本支局では、こんな業務をしています！

海ごみや地域のごみ削減に対する取り組みについて、なかでも自治体や地域住民のみなさん等を巻き込んだ取り組みを支援しています。福岡県からの委託業務では、福岡県内の河川やその周辺のごみに関する調査や、地域のごみ削減に向けた活動事例の取りまとめなどを実施しました。



こぼればなし ● ～ACAP職員のある出会い～

ACAPへラオスから女性研修生が来訪したときのこと。その方はご家庭を持ちながら、各国を飛び回り仕事をされているそうです。家庭と仕事の両立の難しさを日々身に染みて感じていたこともあり、とても驚きました。と同時に、日本で同じ働き方ができるかと考えると、全く想像が付きませんでした。

そのことを尋ねると、ラオスには「家事や育児をサポートする人を雇うという仕組みがある」と教えてくれました。出産しても女性が働き続けられる環境があるため、多くの女性が家庭と仕事を両立できているそうです。周囲の力を借り働き続けるという柔軟な働き方に感心し、働き方ひとつとっても地域ごとに違いがあるのだと視野が広がりました。



JESC-INFO編集部に聞きました 仕事に関わる気になる話題！



NEWS③

伏木富山港の物流ターミナルでヒアリ1000匹以上発見

7月15日、富山県は同月11日に環境省実施の調査を行い、上記について発表。ヒアリは富山県射水市の伏木富山港国際物流ターミナルのコンテナヤードで発見され、環境省によれば本州の日本海側でのヒアリの確認は初めてとのこと。

？
？
？ ヒアリって？



ヒアリ（当センターにて撮影）

- ✓ ヒアリは**強い毒を持つ外来種のアリ**で、主に南米原産のアリです。近年は日本を含む各地でその生息が確認されており、**人間や環境に深刻な影響**を与える可能性があるため、特に注意が必要です。大小様々な働きアリがみられます。
- ✓ **刺されると激しい痛みと腫れ**があります。まるで火で焼かれたような痛みがあることから「火蟻」と呼ばれます。
- ✓ アレルギー体質の人が刺されると、**アナフィラキシーショック**を引き起こす危険もあります。
- ✓ 作物や在来生態系、電気設備にも被害をもたらすことがあります（例：配電盤に入り込んでショートを引き起こす）。

環境生物・住環境部では、こんな業務をしています！

環境省より「ヒアリ等の非意図的外来種侵入対策に関する普及啓発業務」を継続して受託しています。その一環で、講習会等を開催しています。

講習会レポート



コンテナのチェックポイントを説明
（当センターにて撮影）

環境省外来生物対策室職員、およびアリの専門家を招へいし、政令指定都市の港湾・運輸関係者を対象に実習を行いました。

講義にあたっては実物のヒアリ（標本）を手に取り、スマホに装着できるルーペを使用して特徴となる部分を観察しました。

屋外会場にはレンタルしたコンテナ（6m×10m程度）を設置し、内部の構造やアリが侵入しやすい箇所を実際に眺めていただきました。

その他、菓子類を使った簡易的な調査方法、薬剤の処理方法についても学んでいただきました。



ヒアリを見つけたら？万一刺されてしまったら？

【ヒアリを見つけたら、相談ダイヤル（0570-046-110）または市区町村へ！】

- ✓ ヒアリが少数の場合、スプレー式殺虫剤等で殺虫してください。死骸であっても素手でさわらないようにしましょう。
- ✓ ヒアリの集団や巣を見つけた場合、絶対に刺激せず市区町村の担当窓口へ連絡してください。
- ✓ もしヒアリに刺されたら、体調に変化がなくても、20～30分程度は刺された部位を冷たいタオルや保冷剤などで冷やしながら安静にし、様子を見てください。刺された場合、焼けるような痛み、かゆみ、膿、ひどい場合にはじんましん、呼吸困難、血圧低下、記憶障害などがおこる場合があるので、なるべく一人にならないようにして、様子を見ましょう。

もっと知りたい方はこちらから！（環境省）

<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/attention/hiari.html>

Pick up news

7月28日、秦野市伊勢原市環境衛生組合より「はだのクリーンセンター一次期長期包括運營業務及び基幹的設備改良工事に係る検討支援業務委託」を受託しました。基幹的設備改良工事に係る検討支援と、次期長期包括運營業務の発注者支援を行います。



8月8日、仙台市のごみ焼却施設の建て替えに伴う「今泉工場建替事業に係る事業者選定アドバイザー業務委託」を受託しました。新施設の建設等に向けた発注者支援を行います。



第一回検討会の様子

日環センターでは、し尿・汚泥再生処理等の今後の在り方について検討することを目的に、学識経験者、自治体職員、関連団体職員で構成した「し尿・汚泥再生処理の今後の在り方検討会」を設置しました。

8月19日に第1回検討会を開催し、し尿・汚泥再生処理を取り巻く状況と課題に関する活発な議論が行われました。

次回以降、検討項目の選定やし尿・汚泥再生処理の今後の在り方を検討し、令和9年度頃の検討結果の報告を目指します。

9月5日、(一社)環境衛生施設維持管理業協会の環境施設総括管理士資格認定研修会で、環境工学第一部藤原理事、環境工学第二部稲田部長、岡崎次長が講演を行いました。藤原理事が「脱炭素社会に向けたごみ処理の今後の展望と課題」、稲田部長が「し尿処理・汚泥再生処理施設に係る現代の運転管理～今後の施設運営に求められる視点～」、岡崎次長が「し尿・汚泥再生処理に係る現代の運転管理～社会情勢の変化から見える今後の運転管理の展望～」について講演しました。

9月17日～19日、第66回大気環境学会年会にて日環センター環境科学部およびACAP職員が参加し、研究発表を行いました。ACAP弓場主任研究員と諸橋主任研究員がそれぞれ進歩賞・AJAE論文賞を受賞しました。

当センターより上記受賞のほか多数研究発表をしています
詳しくはこちら (第66回 大気環境学会年会プログラム)



9月17日～19日、第36回廃棄物資源循環学会に日環センター資源循環部および環境工学第一部、西支局職員が参加しました。一部職員は当学会の各委員会委員を務めています。



第69回生活と環境全国大会

2025年10月16日・17日@フォレスト仙台

事前参加申込を受付中！詳しくは

生活と環境全国大会 検索 

<https://www.iesc.or.jp/training/tabid/141/Default.aspx>